

平成27年度ホタテガイ採苗通報(第3報)

平成27年4月21日



宮城県

気仙沼水産試験場 TEL:0226-23-6880 FAX:0226-24-2561
 E-mail:kssuisi@pref.miyagi.jp
 HP:http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kesenmuma-s/
 Facebook:https://www.facebook.com/kesuishi
 気仙沼地方振興事務所水産漁港部 TEL:0226-22-6852
 水産技術総合センター TEL:0225-24-0138
 県漁協各支部青年部・研究会

- ・ ホタテガイ浮遊幼生は、すべて250ミクロン以下の中小型幼生で、只越で多く出現しています。一方、大前見、岩井崎では前回(4/13)より若干減少しました。
- ・ 250ミクロン以上の大型幼生(付着期幼生)は出現しておらず、まだ採苗袋の投入時期になっていませんが、今年の投入時期は昨年よりも早いと予想されますので、順次、採苗袋の準備等を始めて下さい。

《調査結果の概要》 調査日:4月20日(前回調査日は4月13日)

- ・ 調査地点の表層水温は8.2~8.7℃(前回8.0~8.1℃)、10m水温は7.3~8.2℃(前回6.7~6.9℃)でした。
- ・ ホタテガイ浮遊幼生は、すべて250ミクロン以下の中小型幼生でしたが、唐桑の只越で297個と多数の出現がありました。一方、気仙沼湾口の岩井崎で4個(前回34個)、大島の大前見で37個(前回122個)、同じく阿沼で47個(前回欠測)と、前回よりも若干減少しました。
- ・ ムラサキイガイ(シウリガイ)幼生は、唐桑の只越で313個と多い状況です。
- ・ 母貝の生殖腺指数は若干低下しており、産卵が始まっているものと推測されます。

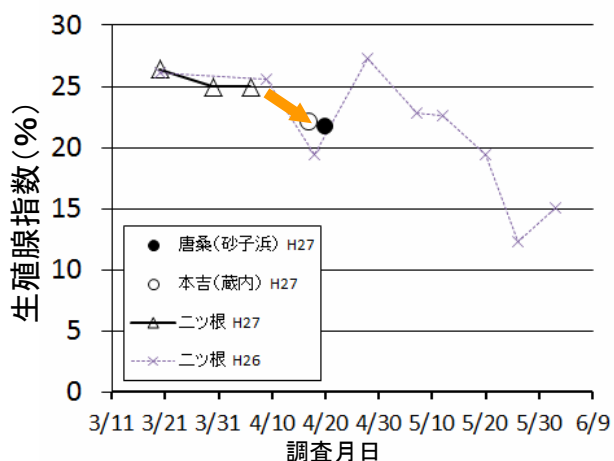


図 生殖腺指数の推移

表 浮遊幼生調査結果

調査海域 (調査月日)	水温(℃) 表層/10m	ホタテガイ浮遊幼生数 個体/m ³		ムラサキイガイ 幼生数 個体/m ³
		250ミクロン以下 (小型~中型)	250ミクロン以上 (大型)	
岩井崎 4/20	8.7/7.3	4	0	4
大前見(大島) 4/20	8.2/8.1	37	0	2
阿沼(大島) 4/20	8.5/8.2	47	0	2
只越(唐桑) 4/20	8.2/8.0	287	0	313

県外情報

- 青森県 ・陸奥湾全域で採苗器の投入を指示。ホタテガイ幼生数は平年より多い。
 ・採苗器への付着は順調(付着数が増加中)。
 岩手県 ・今期の幼生調査は4/20頃からの予定。

次回の通報発行は4月28日頃の予定です。